

氷見市長

本川 祐治郎 殿

要 望 書

平成26年 4月23日

氷見市十二町

下十二町自治会長 崎 山



平成26年度下十二町地区要望事項

要望事項

1. 市道清水2号線（県道より防火水槽まで）の拡幅工事について。
理由 現状は市道の舗装部分幅員が3.5mと狭く、緊急時を考えると非常に不安である。また、軽自動車同士のすり替えができない。市道沿いの排水溝（現状は内径40cmの明渠）をボックス型の大型側溝にして、幅員を確保してほしい。
2. 市道矢崎津野線の交差点（十二町110-2谷内 浩宅前）の拡幅について。
理由 現状は市道の交差点がクランク状態になっているため、車の後輪が脱輪し、法面が破損して、危険である。排水溝に強固な蓋をして、2mほど拡幅してほしい。
3. 市道津野荒館1号線横断溝の損傷について。
理由 横断溝の損傷が著しく側溝の役目をはたせず、利用のためには改善が必要であり、早急に改修してほしい。
4. 市道津野線横断暗渠の不等沈下について
理由 水路とヒューム管のつなぎ目が不等沈下で段差ができて、大雨があれば側溝があふれ、市道や水田の法面が浸食崩壊しているので対策をお願いしたい。
5. 市道清水2号線横断暗渠の不等沈下について
理由 道路横断の大型ヒューム管が沈下しており、中に土砂が堆積し、流水量が半減しているため、梅雨時期には、洪水となり水田へ逆流したり、道路法面の浸食が心配されるので、道路横断の明渠の水路にしてほしい。
6. 十二町2,132番地 津野 稔宅裏山の崖崩れ対策について
理由 平成24年の11月14日の大雨により、津野宅の裏山が幅10m、高さ3mにわたって崩れ、今後放置すればさらに人家に被害が拡大すると考えられ、梅雨時期前の早急な対策が必要と考えられるので考慮願いたい。

7.十二町3,352番地 船場一夫宅の指定急傾斜地の対策について

理由 過去に何度か陳情し調査も頂いたところですが、事業実施に至らず、裏山の急傾斜地の崖崩れが危惧されるので、早急な対策と事業実施をお願いしたい。

8.市道清水住宅1号線の整備（金谷健宅前）について

理由 市道が不等沈下により傾斜した。大きい所では10センチ以上の傾斜があり、大雨があるたびに道路が水浸しとなり、通行に支障があるので早急な対策をお願いしたい。

9.小ガ谷内池の堤体及び取り付け道路の崩壊について

理由 平成24年の7月20日の豪雨で、洪水吐からの余水が堤体下部や取り付け道路を直撃して崩壊しているのので、このまま放置すれば被害がさらに拡大すると考えられるので早急な対策をお願いしたい。

10.湖光地区の氷見市環境浄化センター横の農道補修について

理由 以前から当センターの重みで農道が不等沈下し、道路が傾斜した。大きい所では20センチ以上の傾斜があり、大雨があるたびに道路が水浸しとなり、通行に支障があるので早急な対策をお願いしたい。



⑧



⑨



⑩



⑪



③



~~③~~



~~③~~ ④



⑦⑥



⑦⑥



⑧ ⑦



⑨



⑨



1(縮尺1/5,000)

